別紙１

児童のみなさんへ

学校対抗「ふくめく」かるた大会は、以下のルールで行います。当日は始まる前にわかりやすく説明しますので、安心してくださいね。ルールを覚えている、覚えていないかで差が付くことは少ないと思います。

学校対抗「ふくめく」かるた大会　公式ルール　2023.9.28 改

■ 大会の実施方法

・１対１で対戦します。
・対戦方式は百人一首の「源平合戦」というやり方に似ています。

■かるたの実施方法

・長テーブル１つにお互いが向かい合って、椅子に座って対戦をします。（椅子に座っても、立った状態でもＯＫですが、素早く取るためにほとんどの子どもが立った状態 で対戦します）

・ふくめくスターターキット４４枚で実施します。読み札はカラ札５枚（「2014 年追加読み札カードから５枚選びます）を混ぜます。追加カードを持っていない人は、別紙２の「2014年追加読み札カード」を参考にしてください。

・かるたの読み札は、会場全体で１人がマイクで読みます。
読み札を読み始める前に、マイクを持った進行係が
「よろしいでしょうか？」（前の札がすべてのテーブルで取られたか確認します）
「次、読みます」（各テーブルで準備を確認）
「（読み札）・・・・・」
という流れで進行していきます。静かにして、読み札の読まれるのに集 中しましょう。

・読み札は、全体を読んで、最後にカードの頭文字を言います。
例：祈り込め　茅の輪をくぐり　素盞嗚神社（すさのおじんじゃ）の「す」

■ふくめく競技かるたルール

・テーブルにあるかるたを１人が裏向きに混ぜ（カードを切る）、混ぜなかったもう１人が裏のままお互い２２枚に分けます。この２２枚が自分の持ち札になります。

・持ち札を自分向きに２列に並べる。並べ方は自由。１列目が多くて、２列目が少ないなども可。ただし、互いの手が普通に届く範囲内に配置してください。

ふくめく開始時配置写真（例）】

・相手陣地のカードを取った場合は、自分の陣地のカード１枚を選び相手に渡します。取られた側は、その受け取ったカードを好きなところに並べます。

・相手側の陣地でお手つきをした場合は、お手つきした人は相手側から１枚カードを受け取る。もし、自分が相手陣地でお手つきをして、相手が自分陣地の正しいカードを取った場合は、２枚カードを受け取ることになります。

・自分の陣地のカードをお手つきしてもペナルティはありません。

・カラ札でお手つきした場合も、敵陣地でのお手つきのみペナルティがつきます。自陣地のお手つきはペナルティはありません。

・お互いが敵陣地のカードをお手つきした場合は、カードの受け渡しは無しとなります。

・同時にカードを取った場合は、カードのあった陣地の方が優先して取ることができます。

・**自分の陣地のカードが早く無くなった方が勝ちとなります。**勝敗を用紙に記入し、スタッフにお渡しください。

・試合中困ったことがあったら、手を上げて、近くのスタッフに声をかけてください。

【ふくめく試合中配置写真（例）】

■競技場の注意、禁止事項

・各試合の開始時終了時にはお互いに「よろしくお願いします」「ありがとうございました」と挨拶をしてください。

・自分のテーブルが終了しても、他のテーブルでは競技が続いています。静かに待機をしてください。

・各テーブルの審判員、進行係の指示に従ってください。指示に従わなかったり、スムーズな進行の妨げになるような行動を取られた場合は保護者の方と相談の上、退場をお願いする場合もあります。ご了承ください。

・競技中の構えですが、テーブルの手前の縁に手をつける、またはテーブルの高さより低い位置に手を置いてください。カードの上に手をかざした状態で待つことは禁止いたします。また、また迷いながらカードの上で手を動かす行為も、状況を見て審判員から注意をさせていただきます。

・みんなが楽しめる大会となるよう、ご協力をお願いいたします。

【カードを取りに行く前の正しい構え（良い例）】

【悪い構え（悪い例）】